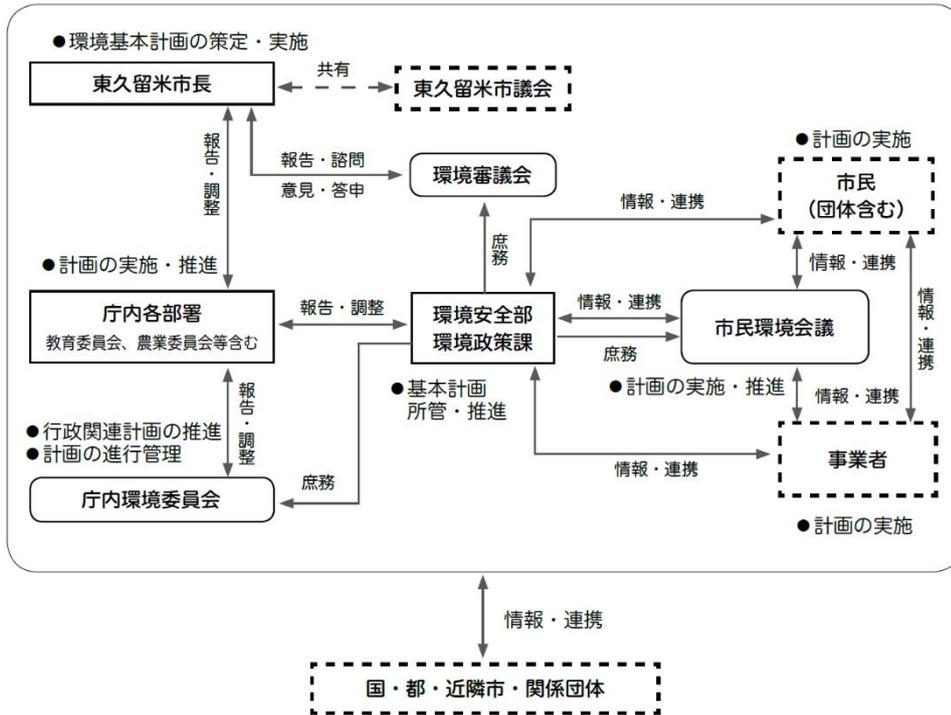


論点 7.推進体制について

現行計画における推進体制(事務局、審議会、市民環境会議など)のふりかえりを行う
 推進体制、推進方法について検討する

■現行計画の推進体制



東久留米市第二次環境基本計画
p. 53 より引用

■協働の仕組みの強化と運営のイメージ(小金井市を参考)



東久留米市第二次環境基本計画
p. 50 より引用

■現行計画の推進体制のふりかえり

1. 東久留米市市民環境会議について（平成19年5月7日制定施行）

➤ 計画期間内における活動状況

年度	期	人数	主な活動内容
H28	5期(H27.5	16名	・環境基本計画等検討部会への委員参加 ・湧水調査、名木百選選定、グリーンカーテンコンテストの実施、みのり塾の開催
H29	～ H29.7)		
H30	6期(H29.8	7名	・市民環境会議のあり方検討 ・湧水調査、名木百選プレート設置、パンフ作成、みのり塾、黒目川クリーンエイドへの参加
R1	～ H31.7)		
R1	7期(R1.8	13名	・環境フェスティバルへ部会ごとの参加 ・湧水調査、名木百選集の作成、湧水名木百選ウォーキング、家庭ごみ排出量調査、柳泉園見学、みのり塾 ・R2 環境フェスティバルはコロナ禍のため中止
R2	～ R3.7)		
R3			
R4	8期(R3.8	15名	・第三次緑の基本計画検討部会への委員参加 ・湧水調査、遊歩道沿いの花こよみ作成、有料ごみ袋デザイン見直し要望、ポイ捨てごみ削減関係(ごみ拾い活動の実践、要因分析など)、旧ブログの復活 ・R3,R4 環境フェスティバルは冊子作成、動画配信
R5	～ R5.7)		
R6			
R7	9期(R5.8	7名	・湧水調査、湧水点看板の更新、まぼろしの湧水めぐり、サポーター委員募集、遊歩道沿いのベンチマップ作成、桜めぐりウォーキング、みのり塾の再開(たけのこ堀り、季節野菜の収穫)、竹ランタン、竹細工、エコキッズ、エコクッキング、新任教員への自然体験研修(湧水)、くるくるチャンネル再開など
R7	～ R7.7)		

- 市民環境会議委員の固定・高齢化。活動負担の偏り
- コロナ禍で中止していた各種事業を再開

2. 東久留米市庁内環境委員会

- 環境基本計画、緑の基本計画の推進にあたって、毎年度開催(1～複数回)
- 公共施設のエネルギー使用量の調査、報告や省エネ、再エネに関する検討
- 地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定、改訂に関する検討

3. 市民、環境団体

- 環境活動団体による小学校への環境学習支援(落合川、黒目川、南沢湧水群)
- ボランティア団体でも高齢化により、活動に支障が生じている状況がある一方で、ボランティア活動の参加先を求められる状況がある